

平成29年度第4回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		平成30年3月22日(木曜日)林野庁入札室		
委員		前原 一彦(公認会計士) 石井 麦生(弁護士) 近田 直裕(公認会計士、税理士)		
審議対象期間		平成29年10月1日～平成29年12月31日		
審議対象案件		23件	うち、1者応札案件 6件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
抽出案件		4件 (抽出率 17%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 17%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 - %)	
抽出案件内訳	工事	一般競争	4件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	業務	一般競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		物品・役務等	一般競争	19件 うち、1者応札案件 6件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			指名競争	1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	随意契約(企画競争・公募)		1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
	(特記事項) ・抽出の4件については、契約金額が大きい契約、落札率の高かった契約を抽出した。			
	委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問 (詳細に記述すること。)	回答等 (詳細に記述すること。)
			(別紙のとおり)	(別紙のとおり)
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし		
[これらに対し部局長が講じた措置]		<div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div>		

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	抽出契約について 〔抽出番号1：林野庁東陽宿舎1号棟内装他改修工事〕	
	・工事は完了しているでしょうか。	・ほぼ作業は終わっております。
	・低入札価格調査によると同種工事実績があると記載がありますが、宿舎関係の工事実績があるということでしょうか。	・契約書等を提出していただき確認をし、実績があると判断しています。
	・入札公告に記載の競争参加資格として主任技術者又は監理技術者を専任で配置するとありますが、確認しているでしょうか。	・今回の工事では主任技術者を専任で配置することを確認しています。
	・入札は総合評価落札方式によるものですが、技術審査の評価点について、どのように算出しているのでしょうか。	・加算点の満点は30点ですので、評価点の最高点である株式会社コンテックの96点を30点に換算し、それを基準に各社それぞれの加算点を計算しています。
	〔抽出番号2：平成29年度国有林における長期・大ロットの立木売却等の手法に係る海外事例調査事業〕	
	・一般社団法人日本木材総合情報センターが株式会社自然産業研究所（以下、「自然産業」）より入札価格が低いです。技術点で逆転し、自然産業が落札しています。価格点と技術点では技術点に重点が置かれていると考えて良いでしょうか。	・価格は予定価格の範囲内である必要はありますが、今回の入札では価格点の配分は50点、技術点の配分は100点ですので、技術点に重点を置いております。
・欧州を選ばず、現地調査にアメリカとカナダを選んだ理由は何でしょうか。	・欧州は国有林・州有林の公社化・民営化が進んでおり、日本のように国が管理をしながら民間事業者が伐採する制度とは異なるためです。なお、比較検討のため、文献及びヒアリングにより欧州の調査も行っています。	

	<p>・本事業は知見を要し、調査にも労力がかかると思いますが、契約額が500万程でありあまり大きくありませんが事業遂行に支障はありませんでしょうか。</p>	<p>・受託業者の自然産業研究所は小規模ではありますが、現地に駐在している方がおり、語学も堪能なことから現地での調整等を得意としており、経費削減になっていると考えています。調査結果についても満足のいくものになっています。</p>
	<p>〔抽出番号3：平成29年度避難指示解除準備区域等の林業再生に向けた実証事業（路網整備）〕</p>	
	<p>・事業計画書の予算によると、ふくしま中央森林組合への再委託費が大きく、中心になって業務を行なっていると思いますが、どのような組織でしょうか。</p>	<p>・森林組合は地域の森林所有者で構成される組合組織です。福島県には複数の森林組合がありますが、ふくしま中央森林組合は今回事業を行っている葛尾村周辺の森林所有者を構成員とする森林組合です。</p>
	<p>・受託者は過去に類似の調査業務実績があるとのことですが、具体的にはどのようなものでしょうか。</p>	<p>・放射性物質に配慮した森林整備の実証事業、森林に関する基本的な調査事業、また、林野庁以外にも各自治体の調査事業にも携わっています。</p>
	<p>・再委託先は3つありますが、再委託先の業務はチェックの対象になっているでしょうか。</p>	<p>・最終成果品の検査を行うとともに、また、再委託申請により事前に審査を行い、再委託後は契約書の写しも提出させるようにしています。</p>
	<p>・入札は一般社団法人日本森林技術協会の1者のみですが、1者応札となってしまったこと、また、落札率が高かった原因をどのように考えているのでしょうか。</p>	<p>・1社応札となってしまったことについては、放射性物質対策と森林整備両方に知見がある業者が少ないというのが大きな原因と考えられます。また、発注時期が遅く、再委託先の確保が難しかったことも原因と考えられます。</p> <p>落札率については、工種、数量を入札説明会で示しているため、一般的な積算資料で積算すればある程度予測が可能と考えられます。</p>
	<p>〔抽出番号4：一般作業衣（シャツ型）〕</p>	

	<p>上衣323着)ほか2品目の製造(単価契約) ]</p>	
	<p>・制服の入札は例年、株式会社イタクラ、株式会社ヴィナ、株式会社トーホーユニの3者が応札しているのでしょうか。</p>	<p>・この3者以外にも応札する者はありません。</p>
	<p>・入札価格が均衡することについて、どのように考えているのでしょうか。</p>	<p>・材料費が固定費となっており、差がつくのは人件費になりますので、価格が均衡しているのではないかと考えています。</p>
	<p>・応札者は3者で、もう少し多くてもいいように感じますが、どうでしょうか。</p>	<p>・過去、多い年は6者応札した年もありましたが、今年度は少なくなりました。</p>
	<p><b>その他</b>          ・委員会としての意見はなし。</p>	